

## 実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名(地区内集落名)	作成年月日	直近の更新年月日
黒部市	石田地区	令和3年3月31日	令和5年3月31日

## 1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積	143.3 ha
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	84.7 ha
③地区内における組織経営体(任意組織含む)の耕作面積の合計	25.3 ha
④地区内における60才以上の農業者の耕作面積の合計	45.9 ha
うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計	4.3 ha
⑤地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計	0 ha
(備考)	

## 2 対象地区の課題

<ul style="list-style-type: none"> <li>・担い手の経営面積の拡大が見込めない(担い手の今後の経営意向が現状維持もしくは縮小傾向)</li> <li>・担い手の経営面積が少ないため新たに地区を越えた担い手の確保が必要</li> <li>・担い手や集落営農組織の高齢化が進んでいるため後継者(若い世代の担い手)の確保が必要</li> </ul>
---

## 3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

新たな担い手の育成
担い手の集落を越えた経営面積の拡大を促進する。
地区外から担い手の受け入れを募る。

## 4 3の方針を実現するために必要な取組に関する方針(任意記載事項)

担い手間の話合いで情報共有を図り、再生協議会を中心に農地の集積や集落を越えた受け入れについて調整を進める。
地区外の経営体を受け入れるために、担い手協議会などを中心とした話合い・調整を進める。
後継者問題、高齢化問題を地区全体の問題として捉え、各町内会とも連携して協議を進める。

## 実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名(地区内集落名)	作成年月日	直近の更新年月日
黒部市	三日市地区	令和3年3月31日	令和5年3月31日

## 1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積	63.3 ha
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	36.5 ha
③地区内における組織経営体(任意組織含む)の耕作面積の合計	14.6 ha
④地区内における60才以上の農業者の耕作面積の合計	19.8 ha
うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計	1.3 ha
⑤地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計	0 ha
(備考)	

## 2 対象地区の課題

地区内のほとんどが用途地域に指定されており、圃場の面積も小さく作業効率が悪い。
---

## 3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

地域営農の中心的な担い手となる2名の認定農業者を、地域でサポートできる体制作りに取り組む。
---

## 4 3の方針を実現するために必要な取組に関する方針(任意記載事項)

農地の活用方法について、定期的な話し合いの場を設け、検討を重ねる。
-----------------------------------

## 実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名(地区内集落名)	作成年月日	直近の更新年月日
黒部市	前沢地区	令和3年3月31日	令和5年3月31日

## 1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積	300.1 ha
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	213.2 ha
③地区内における組織経営体(任意組織含む)の耕作面積の合計	126.5 ha
④地区内における60才以上の農業者の耕作面積の合計	62.1 ha
うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計	9.8 ha
⑤地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計	10 ha
(備考)	

## 2 対象地区の課題

中部・西部地区では担い手による集積が期待されるが、中山間地域では変形田や狭小田が多く、有害鳥獣対策も必要なことから、担い手の確保が困難である。

## 3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

山田新、下組、中部地区の農地については中心経営体で規模拡大の意向があるため、地区内での連携・調整を図りつつ集積を行う。

西部地区では基盤整備事業が進行中のため、集約化に向けた調整を進める。

中山間地域については、集落などでまとめて草刈り等の農地維持活動に取り組む。

## 4 3の方針を実現するために必要な取組に関する方針(任意記載事項)

拡大意向のある担い手間で農地交換を行い、集約化により作業効率を上げる。

年間通しての雇用の維持にむけて、営農組織内の改革を進め、経営力の強化を目指す。

中山間地域では農地維持活動とともに、担い手対策について話し合いを継続する。

## 実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名(地区内集落名)	作成年月日	直近の更新年月日
黒部市	愛本地区	令和3年3月31日	令和5年3月31日

## 1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積	164.8 ha
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	158.8 ha
③地区内における組織経営体(任意組織含む)の耕作面積の合計	148.1 ha
④地区内における60才以上の農業者の耕作面積の合計	3.7 ha
うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計	0 ha
⑤地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計	1.5 ha
(備考)	

## 2 対象地区の課題

中心経営体の高齢化が進み労働力不足が懸念される中、現状を維持しながら、更に後継者のいない農地を引き受けていくには若い担い手の確保・育成、組織経営体の合併・再編等が必要。

## 3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

農地の効率的な農作業・管理を図るため、中心経営体の5集落営農組織を中心に個人農業者や隣接する入善町の農業法人と協議し、管理農地の交換等による農地の集約化を促進する。

中心経営体のない集落(中ノ口地区など)の貸付意向のある農地については、愛本地区内の中心経営体の5集落営農組織と個人農業者が協議し集積を行う。

## 4 3の方針を実現するために必要な取組に関する方針(任意記載事項)

地区内の経営体間だけでなく、隣接する入善町の担い手も含めた情報共有・連携を行う。